

### 3 道徳の時間（道徳科）と他の教育活動との関連

#### <場の内容・ねらい>

#### <生徒の意識>

#### <指導・援助>

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p>行事（6月）<br/>「自然体験学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の雄大さに触れたり、自然の摂理に生命の尊さを感じたりして、自然への畏敬の念をもつことができる。</li> </ul>  | <p>【日常の活動】</p> <p>○朝・帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然現象の機会を捉えて、教師が感じたことを生徒に伝える。</li> </ul> <p>○読書活動</p> <p>宇宙飛行士、冒険家等の著書から、著者の生き様に大きな影響を与えている自然の偉大さについて語り合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の恵みに感謝しながら、有効に活用して生きてきた先人の知恵ってすごいな。</li> <li>・自然の厳しさもありがたさもよく分かっているな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の力や美しさを感じ、自然に対して、新しい認識をもつことができた生徒の感じ方、考え方を価値付ける。</li> </ul>  |
| <p>理科（6月）<br/>「生物と細胞」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の組織などの観察を行い、生物のからだは細胞からできていること、そして植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし、理解できるようにする。</li> </ul>   | <p>○読書活動</p> <p>宇宙飛行士、冒険家等の著書から、著者の生き様に大きな影響を与えている自然の偉大さについて語り合う。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球には、たった1個の細胞ですべての生命活動を行う仕組みを備えている単細胞生物もいれば、多細胞生物のように階層的な仕組みをつくり、より複雑な生命活動を行っている生物もいる。同じ細胞でもこんなにはたらきが違うなんて、生物って不思議だ。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の神秘について、新たに感じられるように、単細胞生物と多細胞生物の共通点や相違点について指導する。</li> <li>・自然の崇高さとともに、その自然の中に身を置く自分自身もその自然の中の一人であることに気付くことができるようにする。</li> </ul>        |
| <p>道徳の時間（道徳科）（6月末～7月初）<br/>「槍ヶ岳の開山」（播隆上人）<br/>内容項目 D（21）「感動、畏敬の念」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限りない自然の美しさや神秘さ、荘厳さに触れることが、人の心を動かし、生き方を見つめ直すことにつながることに気付き、自然を敬おうとする心情を育てる。</li> </ul>             | <p>○朝・帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの道徳」「美しいものへの感動と畏敬の念」（P114～119）の中の「この人の言葉」を読み、感じたことを交流し、「生きている意味」「子どもの頃の思い」から彼の自然に対する畏敬の念を理解する。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然に比べると人間の力って小さい。」ということに気付かせてくれる力が自然にはあるということが分かった。「きれいだな。大きくて、すごいな。」とは思っていたけど、今までとは違って、自然って、人に何かを気付かせてくれるような大きな力をもっているから、すごいと感じた。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然って、すごいな」というだけでなく、人間は有限であることに気付かせる。</li> <li>・人間の力が及ばない、理解を超えていることであると自分なりに感じたり、自然に対する尊敬や人間の小ささを感じるなど謙虚に受け止めたりしている生徒を価値付ける。</li> </ul> |
| <p>社会（9月）<br/>「日本の諸地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨による土砂崩れと水害に対する取組について、自然環境の特色と関連付けて考察する。</li> <li>・さんご礁を守る取組について、地域開発の動向と関連付けて理解する。</li> <li>・環境問題を、自然環境や人々の生活と関連付けて捉え、特色をまとめる。</li> </ul> | <p>○朝・帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの道徳」「美しいものへの感動と畏敬の念」（P114～119）の中の「この人の言葉」を読み、感じたことを交流し、「生きている意味」「子どもの頃の思い」から彼の自然に対する畏敬の念を理解する。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然は、地震、火山噴火といった人間の力ではどうすることもできない猛威を振るうこともある。一方で、地球上の動物は人間も含めて、自然の恵みの恩恵を受けて生活している。また、自然は、美しさを見せる。自然は畏れる面、敬う面の両面を併せもっている。人間と自然の調和を考え、共存する方法を考えていこう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と共存するために、家の造り方や災害対策など人々の生活に影響を与えていることや、観光業と自然環境保全の両立に課題があることなどについて取り上げる。</li> </ul>  |
| <p>美術（10月）<br/>「自然を形に」<br/>〈四季の和菓子づくり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工芸品に生かされている自然の美しさや季節の彩りなど造形的な工夫に関心をもつ。</li> </ul>   | <p>○朝・帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの道徳」「美しいものへの感動と畏敬の念」（P114～119）の中の「この人の言葉」を読み、感じたことを交流し、「生きている意味」「子どもの頃の思い」から彼の自然に対する畏敬の念を理解する。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はこんなにも美しく豊かな自然に囲まれて生きているんだ。それを感じられる心もち続けたい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は四季の変化による豊かな色彩に恵まれている。それを取り入れた造形的な美しさ気付くことができるようにする。</li> </ul>  |